

基幹センターへ頂いたご意見については、センター内で確認し、対応を検討しましたのでご報告します。

① 質問、分からないこと。

- ・何をしているのか分からないとのご意見がありました。この点については、今後も周知活動を行い、多くの機関やスタッフの方と関わりを持つように努めます。また、ホームページの周知も図り社会資源の情報など、活用いただけるように努めます。
- ・相談員は勤務年数も様々で、至らない点もあると思いますが、今後も自己研鑽に努めて参ります。また事業所へ引き継ぐ際の情報提供書については、共通のフォーマットを整備する予定です。
- ・部会については、10年前は4分科会ありました。現在の部会は当時とは違う為、わかりにくい点があると思いますが、今後は、わかりやすい組織作り、部会編成を行い、多くの方に参加頂けるようにしたいと思っています。
- ・リーベルネットワーク会議の会員数は、76事業所です（行政も含む）。以前は、八女市と広川町、1市1町で自立支援協議会を運営していましたが、広川町に自立支援協議会ができて以降は、八女市のみで自立支援協議会を運営するようになりました。その際、市外から参加の事業所には、リーベルネットワーク会議の継続の意向調査を行い、継続の意向があった事業所の方々に現在も参加頂いております。月日も経ちましたので、改めて市外の事業所については意向確認が必要ではないかと考えています。

② 要望。期待すること。

- ・研修会や部会の要望については、皆さまの意見も伺いながら検討したいと思います。
- ・就労選択支援への関心度は高く、基幹相談支援センターとして、地域の事業所への周知や説明会等の取り組みが遅れたことは申し訳なく思っています。今後は法改正などの動きがある時は早めに意見交換や説明会等の機会を設けたいと思います。皆様からの助言やご協力をいただきながら、地域の福祉の向上に取り組んで参ります。

③ 地域課題について

- ・各分野から沢山の課題を出して頂きました。
- ① 高齢化 ②人手不足（支援員、計画相談員） ③部会が少ない ④児童サービスについて ⑤山間部に社会資源がない ⑥要支援者が複数いる家族 ⑦不登校グループワークを通して出た地域全体の課題を、この報告書によって皆様も把握頂け

と思います。課題に対して、何が出来るか考えることが第1歩と思います。部会などを活用して意見交換の場を作っていきたいと思います。

障がい者基幹相談支援センターは、障がいのある方、障がいの可能性がある方の生活全般の相談を受けています。困ったなと思われた時は、ぜひ、ご相談ください。

今後も、地域の中核機関として、皆様のご協力を頂きながら、生活しやすい地域づくりに貢献したいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

今回は当センターに対して、貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございました。